

月刊精華女學唱歌
鈴蘭樂譜
 全國高等女学校用

第十六編 竹の巻

春野の小徑

大童球溪作歌
 Arr by H. Harada

三部輪唱二曲

大正十五年二月号

春野の小徑

大童球溪作歌

1
 薫る風に雲霧吹かれ、
 春野の小路 分けつつ行けば、
 雲雀は高く空にうたふ。

ラララ ラララ 春風吹く。

2
 霞む野邊に秋連れ、
 畦路の小草摘みつつ行けば、
 胡蝶は軽く花にをどる。

ヒラリ ヒラリ ヒラリ ヒラヒラヒラ。

大正十五年二月五日印刷
 編輯 成樂會

大特選樂譜

第一三〇四編 □濱邊の歌(獨唱) □み山さく(獨唱)

□御國を守れ(ピソップ作曲・三部大合唱)

第一三〇五編 □春の小川(二部合唱) □若草(子供の歌)

□春の夕(獨唱) □池の鯉(子供の二部) □太平洋(少年歌)

四月號(一四三編) □花の春(幼年) □若葉(少年)

□郊外遠足(二部合唱) □日本海の大波(子供の二部合唱)

少年少女樂譜

第一三〇六編 □雛の宿(少女獨唱用)

第一三〇七編 □落花 □雨の糸

第一三〇八編 □四月一日發行目下選曲中

鈴蘭樂譜

一ヶ月會費一種八錢宛・團體一種五錢
 松竹梅三種にて二十四錢・團體十五錢

第一一六編 □松の巻 吹けよ春風(三部)

□竹の巻 春野の小徑(齊唱) □梅の巻 春日のめぐみ(齊唱)

新教材

第一一七編 □かこのうぐい(低學年) □春が来た(二部)

第一一八編 □だるま(中學年向聯唱) □風船玉(低學年)

第一一九編 □卒業式の歌(卒業生在校生聯唱) □ヒヨコ(幼年)

□村のお房(幼年) □富士山(子供と先生との三部合唱)

□山が火を吐く(高學年男兒二部合唱)

なでしこ

第一二〇編 □風船玉(低學年) □仲よし(中學年)

第一二一編 □日向ぼっこ(中學年) □なすのよ(高學年) □三才女(二部)

ピアノ獨奏名曲

○晚鐘(五〇) ○オクターローの激戦(五〇) ○憶ひ出(二〇)

○君が代シツクスヴァリエーション(一〇〇) ○風の曲(六〇)

○銀波(ナイガン獨奏曲、四〇)

春の音樂會用合唱曲大物

四季(二部合唱西歐名曲) (三三) ▲御國の眺め(三部合唱)

西歐名曲) (三三) ▲春こそ來れ(二部合唱西歐名曲) (三三)

▲友はいつ(二部合唱西歐名曲) (三〇) ▲B A B a (三部

合唱西歐名曲) (三三)

樂典要所 (送共) 新制音樂理論抜粹

大正十五年二月五日印刷 【非賣品】
 大正十五年二月十日發行

各學年共 半ク年分 四十錢宛
 學生團體前納 一人分 廿五錢宛

編輯兼 原田彦四郎

印刷所 樂譜印刷研究所

發行所 成樂會

右代表者 大橋利康

福岡市大學通り二丁目

發行所 成樂會

靜岡市東郷匠町五二

振替名古屋一〇二四八番

東京 東京市外田端三四六

事務所 中井博士邸内原四田

團體特別扱 一度乞御照會

春野の小徑

犬童球溪作歌
Air by H. Harada

快活ニ

カカ
カ
テ
ス
ル
ム
カ
の
セ
ベ
ニ
モ
た
ス
も
ソ
と
フ
つ
カ
ら
レ
れ

ハ
あ
ル
ル
ノ
ノ
の
コ
を
ミ
ぐ
ー
チ
ミ
ワ
つ
ケ
み
ツ
ツ
ツ
ユ
ウ

ケ
け
ー
バ
ば
ー
コ
を
バ
て
ふ
ー
ハ
は
タ
か
カ
る
ー
ク
ソ
は

ラ
な
ニ
に
ウ
な
を
タ
が
ミ
フ
る
ラ
ひ
ら
ラ
リ
ラ
ひ
ら

ラ
リ
ハ
ひ
ル
ら
カ
ひ
ミ
ら
フ
ひ
ラ
ら

三部輪唱二曲

I
II
III

I
II
III